

令和6年度 介護支援専門員 実務研修

# 演習様式集 ①

(集合研修前期課程)

※注意事項:

本演習様式集は集合研修最終日まで活用しますので、資料として持参して下さい。



長野県介護支援専門員  
研修企画懇話会



## 演習1 介護支援専門員って何をする人か？

- グループディスカッション（自己紹介も兼ねて）

メモ

「正しい答え」を求める演習ではありません。自分が感じたことを言語化して伝え、メンバーの意見を聞き「気づくこと」「学ぶこと」を大事にして下さい。

## 演習2

# 私たちが支援する対象者は、どんな人か？

### ●グループディスカッション

メモ

「正しい答え」を求める演習ではありません。自分が感じたことを言語化して伝え、メンバーの意見を聞き「気づくこと」「学ぶこと」を大事にして下さい。

## 演習3

### 相談援助の基本①

初回訪問の面接場面をみて気づいたこと、気になったことを記入して下さい。

●どんな面接であったか(結果とそう思った理由)

●気になったこと(良かった点や悪かった点)

●グループワークで気づいたこと

※「正しい答え」を求める演習ではありません。自分が感じたことを言語化して伝え、メンバーの意見を聞くことで「気づくこと」「学ぶこと」を大事にして下さい。

## 演習3 相談援助の基本②

【scene 2】をみて気づいたこと、気になったことを記入して下さい。

●どんな面接であったか(結果とそう思った理由)

●気になったこと(良かった点や悪かった点)

●グループワークで気づいたこと

※「正しい答え」を求める演習ではありません。自分が感じたことを言語化して伝え、メンバーの意見を聞くことで「気づくこと」「学ぶこと」を大事にして下さい。

## 演習3 相談援助の基本③

【scene 3】をみて気づいたこと、気になったことを記入して下さい。

●どんな面接であったか(結果とそう思った理由)

●気になったこと(良かった点や悪かった点)

●グループワークで気づいたこと

※「正しい答え」を求める演習ではありません。自分が感じたことを言語化して伝え、メンバーの意見を聞くことで「気づくこと」「学ぶこと」を大事にして下さい。

## 演習4

## 面接の方法と態度

どんな面接をしているか考察しながら視聴して下さい。

【面接①:メモ】

【面接②:メモ】

## 演習4

### 面接の方法と態度

面接で把握できた情報を比較し、その結果から、面接過程で面接①と面接②ではどのような違いがあったのか考察して下さい。

●面接①と面接②ではどのような違いがあったか？

●グループワークで気づいたこと

※「正しい答え」を求める演習ではありません。自分が感じたことを言語化して伝え、メンバーの意見を聞くことで「気づくこと」「学ぶこと」を大事にして下さい。

## 演習5 アセスメント面接（主訴～生活意向の把握にむけて）

担当の介護支援専門員になったつもりで、本人や妻の様子を観察しながら、情報収集を行って下さい。

メモ

## 演習5

# アセスメント面接（主訴～生活意向の把握にむけて）

面接から把握できたこと、気づいたこと・気になったことを記入して下さい。

※グループワークで気づいたことも適宜加えて下さい。

●長野勇さんの人となり（性格、価値観、拘り、家族との関係性、生きがい、拠り所、思い など）

●現在の暮らし（健康状態、日常の過ごし方、日課や役割、楽しみ、生きがい、生活上の支障、困り事 など）

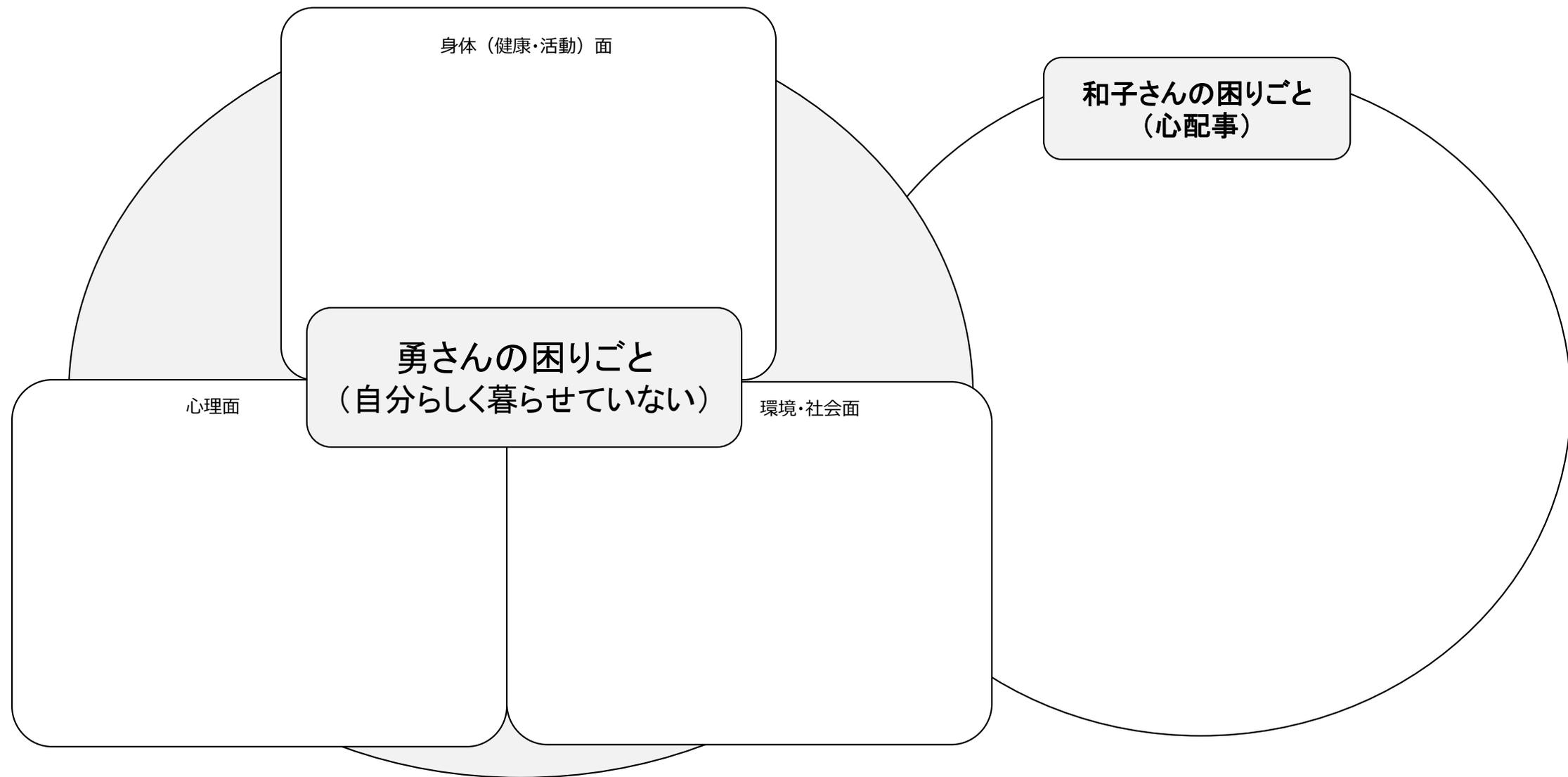
●要介護状態になる前の暮らし（日課・家庭での役割・社会的活躍・地域との繋がり・趣味・生きがい など）

※「正解は何か？」と考えるのではなく、「可能性」（こうかな？こうかもしれない？）を考えることを大事にして下さい。

## 演習6

### ① 言動の背景を探る

“自分らしく暮らせていない”現在の勇さんや和子さんの「困りごと」と「そう捉えた背景」を、様々な角度から考察して下さい。  
1つの枠に捉われずできるだけ色々な角度から考察して下さい。グループワークで気づいたことも適宜加えて下さい。



※「正解は何か？」と考えるのではなく、「可能性」(こうかな？こうかもしれない？) を考えることを大事にして下さい。

## 演習7

### ② 望む暮らしを共感的に理解する

勇さんは「本当はどうしたいのか」、本人が望む暮らしとそう捉えた理由を、本人の目線に立って推察して下さい。

1つの枠に捉われず色々な角度から考察して下さい。グループワークで気づいたことも適宜加えて下さい。

日課や日常(1日や1ヶ月)の過ごし方	家族などとの繋がりや家庭での役割
趣味や生きがい、拘り、拠り所などとの繋がり	仲間や地域、社会などとの繋がりや役割

私が本来ありたい姿  
(自分らしく暮らせている)

※「正解は何か？」と考えるのではなく、「可能性」(こうかな？こうかもしれない？)を考えることを大事にして下さい。

## 演習8

### ③ ストレングスを見出す

勇さんが望む暮らしを実現するために、大事にしていきたいストレングス（力や可能性）を考察して下さい。

1つの枠に捉われず色々な角度から考察して下さい。グループワークで気づいたことも適宜加えて下さい。



介護支援専門員の見方・捉え方によって、本人の力や可能性の見え方（発見）は変わってきます。リフレーミングの視点を大事にして下さい。

## 演習9

### まとめ（介護支援専門員は、利用者のことを理解して…）

担当介護支援専門員として、勇さんを紹介するとしたら、どのように紹介するか？

「私（介護支援専門員）は、勇さんをこう理解しました」という視点で、演習6～8で得た情報を□の中に整理して下さい。

<b>勇さんは</b>	(勇さんの人となり・これまでの暮らし方・大切な関係との繋がりや役割など)	<b>な人</b>
<b>いまは</b>	(要介護状態になった理由、本人の困り事、喪失、不安や不満など)	<b>な困り事や不安を抱えているが</b>
<b>本当は</b>	(本来ありたい暮らし、したいこと、できるようになりたいこと、希望や予定など)	<b>な暮らしがしたい思いがあって</b>
<b>そこに向かって</b>	(本人の力や可能性、自覚していない力、頼れる・支えてくれる周囲の力など)	<b>な力や可能性を持っている人</b>

※文章を作る必要はありません。

